

意見第 2 号

医師・看護師数を増やし、安心できる地域医療の確保を求める意見書

標記の議案を次のとおり久喜市議会会議規則第 14 条の規定により提出します。

平成 28 年 3 月 8 日

提出者 久喜市議会議員
杉野 修
渡辺 昌代

賛成者 久喜市議会議員
川辺 美信

久喜市議会議長 井上 忠昭 様

医師・看護師数を増やし、安心できる地域医療の確保を求める意見書

近年、医師・看護師数が不足していることは全国的な社会問題となっています。とりわけ、埼玉県にあっては、人口 10 万人当たりの医師数、看護師数は全国でも最下位にランクされており、深刻な事態となっています。この間、県も地域医療再生計画を策定し、医療体制の充実に努めて来ましたが、2015 年も医師数・看護師数ともに需要の増加に対して、供給が追い付かないという「不足の慢性化」が存在しています。また、本市では、総合病院が別法人に譲渡される事態に陥ったことで、市民の不安を招いていますが、これもまた、医師・看護師の不足がその背景にあります。

今後、地域医療体制を適切に維持・向上させていくことは喫緊の課題であります。よって、国及び政府においては、医師・看護師不足を解消し、安心できる地域医療体制を確保するよう、下記の事項を強く要請いたします。

記

- 1 地域医療を担う医師・看護師数の増員と養成のための支援体制強化を図ること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出いたします。

久喜市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣

あて